

第93回福島県中央メーデー開催！！



～未来に縁(えにし)をつなぐ 支え合いと助け合いの社会へ～



主催者挨拶・今野泰実行委員長

連合福島は、実行委員会を組織しながら4月29日(金)、第93回福島県中央メーデーを福島市「さんかく広場」と歩行者天国となった「吾妻通り」で開催した。当日は、悪天候も心配されたが、式典にはコロナ制限人数の490人の仲間が参加し、その後の「ふれあいイベント」も多くの組合員や家族、一般の市民の方も久しぶりのイベントを楽しんだ。

式典で今野泰実行委員長が主催者を代表し、「コロナ感染で社会経済が停滞・混乱し、私たちの生活や働き方に影響が及び、腐心の日々が続く。また、ロシアのウクライナへの軍事侵攻。映し出される恐怖に怯え、悲嘆にくれた姿に、心が痛む。侵攻を背景とした原油高や原材料不足に円安が拍車をかけ、物価高騰は進み、不安や不満は一層強まる。

一方で、度重なる自然災害へのボランティア活動も取り組んでいる。組合員の善意の行動が、被災地、被災者を励まし、勇気づけている。また、DO・もーバジプロジェクトは差別、偏見、分断、孤立に悩む仲間へ寄り添う取り組みを進めている。

多くの仲間が希望や夢を支えに、辛抱の日々が続く。辛抱・我慢は、包摂・寛容とも言える。今こそ、仲間の心を一つに、他人事を自分事に思える運動を進めよう。」と挨拶した。

その後、内堀雅雄福島県知事、木幡浩福島市長、金子恵美立憲民主党県連代表、須佐邦夫国民民主党県連事務局長、丹治千代子社会民主党県連副代表から祝辞が述べられた。メーデー宣言の採択と決議文の手交、福島県沖地震義援金の贈呈も行われた。そして緊急の「ロシアのウクライナ軍事侵攻に抗議し、即時停戦を求める決議文」の採択後、今野実行委員長のガンバロー三唱で締めくくった。アピールコンテストでは、自治労・国見町職員連合労組が最優秀賞に輝いた。



来賓挨拶・左から内堀雅雄福島県知事、木幡浩福島市長、金子恵美立憲民主党県連代表、須佐邦夫国民民主党県連事務局長、丹治千代子社民党県連副代表



式典に参加された構成組織の皆さん

ふれあいイベントは、「桜の聖母短期大学ダンスサークル“P.A.S.S.”のパフォーマンス」、「福島大学混声合唱団」、「TAKUMIさんのマジックショー」、「仮面ライダーセイバー撮影会」などで、大いに会場は盛り上がった。

さらには「親子deものづくりコーナー」、「防災体験コーナー」、「ふあふあ遊具やミニ鉄道」、「福島県産の農産物・海産物の販売」、「R3年度豪雨災害 佐賀・静岡物産販売」や「授産施設作品展示即販売会」など数多くのテントが出店し、大盛況のメーデーとなった。

街なか にぎわう



今野実行委員長の発声で、声を出さず団結ガンバロー三唱